

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 日立キャピタル株式会社（証券コード:8586）

### 【新規】

債券格付 A A -

### 【据置】

長期発行体格付 A A -

格付の見通し ポジティブ

債券格付 A A -

国内CP格付 J - 1 +

### ■格付事由

- (1) 日立製作所（日立）ならびに三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の持分法適用関連会社。日立グループの重要な金融パートナーに位置付けられ、人材、営業などでも日立との結び付きは密接である。格付には、資産内容の健全性、堅実な経営方針と損益の安定性、日立グループ関連取引を含めた強固な事業基盤が反映されている。JCRでは前回レビュー（18年9月）で、利益水準や資本充実度が一段と高まる可能性があることから、格付の見通しをポジティブに変更した。その後、当社では19/3期決算で中国ファクタリング取引にかかる貸倒引当金206億円を計上した。当該取引について特別調査委員会では悪質・巧妙な詐欺などによる被害の可能性があるかとみている。当社では大口ファクタリング業務などの抜本的な見直しやリスクマネジメントの一層の強化を図っている。こうした対応により、資産内容の健全性及び強固な事業基盤は維持され、今後、同種・同程度の損失が発生する可能性は低いとJCRではみている。リスク管理態勢強化の進捗、利益水準や資本充実度の改善の方向性などを見定める必要があることから、格付を据え置き、見通しは引き続きポジティブとした。
- (2) 19/3期における取扱高は2兆7,450億円（前期比9%増）、営業資産残高は3兆3,928億円（同7%増）と事業拡大が進んだが、税引前当期利益は327億円（同26%減）と減益となった。日本、欧州、米州、ASEANの各事業は増益となったが、中国事業が引当金計上で赤字となり利益を押し下げた。20/3期の税引前当期利益は450億円と18/3期並みの水準に回復する計画。前期の引当金の剥落が増益の主因となるが、各地域での事業基盤拡充も着実に進む見通し。20/3期からの新中期経営計画では「環境・エネルギー」「モビリティ」「ライフ」「販売金融」を重点事業とし、地域毎の戦略を深化させる方針であり、持続的な利益成長につなげられるか注目していく。
- (3) 中国でのファクタリング取引にかかる引当金計上を除けば、与信コストは低位で推移している。国内事業では日立グループ向けを中心に信用力の高い与信先の構成比が高く、また、海外事業においては小口分散が図られている。世界経済の先行き不透明感強く、一部事業で影響を受ける可能性もあるが、事業領域や地域の分散が進んできており、与信費用の増加は限定的なものにとどまるとJCRはみている。
- (4) 資金調達には社債発行や債権流動化による直接調達比率が比較的高く、間接調達についても主要金融機関と安定的に取引が行われている。また、金利変動リスクについては、資産と負債のデュレーションを概ねマッチングさせた保守的な運営がなされている。19/3期末の親会社所有者帰属持分比率は10.0%（18/3期末10.9%）とやや低下した。海外事業における営業資産残高の増加が低下の主因だが、引当金計上を受けた事業見直しにより20/3期第1四半期の同残高は減少している。新中計で従前に比べ慎重な投資姿勢が示されたことや、利益蓄積による資本拡充が見込まれることも踏まえると親会社所有者帰属持分比率は改善に向かうとみられるが、その進捗を確認していく。

（担当）杉浦 輝一・坂井 英和

■ 格付対象

発行体：日立キャピタル株式会社

【新規】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第78回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2019年10月25日	2022年10月20日	0.020%	AA-
第79回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2019年10月25日	2024年10月18日	0.120%	AA-
第80回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月25日	2029年10月19日	0.280%	AA-

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	ポジティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第45回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2012年10月18日	2019年12月20日	0.666%	AA-
第47回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2013年4月23日	2023年3月20日	0.874%	AA-
第49回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年9月13日	2020年9月18日	0.719%	AA-
第50回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2014年3月20日	2024年3月19日	0.888%	AA-
第52回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月3日	2021年6月18日	0.508%	AA-
第53回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月3日	2024年3月19日	0.815%	AA-
第54回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年9月11日	2021年9月17日	0.416%	AA-
第55回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年9月11日	2026年9月18日	0.963%	AA-
第56回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年12月19日	2019年12月20日	0.197%	AA-
第57回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年12月19日	2024年12月20日	0.616%	AA-
第58回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年5月1日	2020年6月19日	0.216%	AA-
第61回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年6月9日	2026年6月19日	0.310%	AA-
第63回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年2月28日	2020年4月20日	0.001%	AA-
第64回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年2月28日	2022年2月18日	0.130%	AA-
第65回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年4月18日	2022年4月20日	0.150%	AA-
第66回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月13日	2024年6月20日	0.260%	AA-
第67回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月13日	2027年6月18日	0.330%	AA-
第68回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年8月31日	2022年9月20日	0.190%	AA-
第69回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2017年12月6日	2020年12月18日	0.08%	AA-
第70回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年12月6日	2022年12月20日	0.20%	AA-
第71回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年4月23日	2021年3月19日	0.040%	AA-
第72回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年4月23日	2025年4月18日	0.280%	AA-
第73回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2018年7月11日	2021年7月20日	0.010%	AA-
第74回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年7月11日	2023年7月20日	0.170%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第75回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年7月11日	2028年7月20日	0.355%	AA-
第76回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年12月4日	2023年12月20日	0.180%	AA-
第77回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100億円	2019年2月28日	2023年12月20日	0.210%	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	3,000億円	J-1+

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：第78・79・80回無担保社債 2019年10月18日  
上記以外 2019年10月16日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「リース」（2013年7月1日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 日立キャピタル株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
  - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

#### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

#### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル